



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>



女子の部 優勝 明治中学校 3連覇

2日目は、前日の湘南の風もおさまり、絶好のコンディションの中で決勝トーナメント戦が行われ、予選リーグ1位の、明治(女子)は準決勝で菅野中学(長野県)に(25-13)で勝ち、決勝戦では大東門真(大阪府)に(25-19)勝利し3連覇を成し遂げました。

初日は開会式に先立ち、2000年シドニーオリンピック4位の、高橋有紀子さんと講師10名による、ビーチバレーボール教室が開催され、350人を超える参加者をご指導をいただきました。

開会式では、鈴木恒夫藤沢市長に歓迎のご挨拶をいただき、予選リーグがスタートしました。各コートでは江の島をバックに湘南の風に悩まされながら、歓声が上がっていました。各ブロック3チームのリーグ戦の結果1位く3位が決まり1日目が終了しました。

大会は、8月16日(土)・17日(日)の2日間にわたり鶴沼海岸常設ビーチバレーコートで、全国から男子24チーム、女子39チームが参加して開催されました。

初日は開会式に先立ち、2000年シドニーオリンピック4位の、高橋有紀子さんと講師10名による、ビーチバレーボール教室が開催され、350人を超える参加者をご指導をいただきました。

第5回 湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会

男子の部 藤沢クラブ準優勝
女子の部 明治中学校3連覇



男子の部 準優勝 藤沢クラブ

男子は藤沢クラブが地の利を生かし、準決勝で羽咋中学に(25-11)で勝ち、決勝戦に進出し2度目の優勝が期待されましたが、大和ユウ(広島県)に(18-25)で敗れ準優勝となりました。

今大会には新たに、宮城県、長野県、滋賀県、香川県の参加があり、特に長野県の姉妹都市、松本市から初参加の菅野中学(3位)は優勝した明治チームと大接戦を展開し、応援の保護者や役員席からも拍手をいただきました。

年々参加チームが増えてくる、「湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会」は、さらなる発展が期待されたいでしょう。

(荒井)

六会レッズ 全国大会3位



今年の春、4月始めより藤沢市の春の大会が、33チーム参加で行われ、準優勝をしました。

藤沢市野球協会少年部の推薦を受け、高田宮賜杯第34回全日本学童軟式野球大会・マクドナルドトーナメント神奈川県大会に出場することが決まり、32チームでのトーナメントが5月31日から川崎市で行われ、6月14日に川崎市の大師少年野球場で準決勝と決勝を行い、連覇を狙う横浜市代表の元宮ファイターズを逆転サヨナラで下し、悲願の初優勝を果たしました。

神奈川県下、約900チームの頂点となり、8月8日の明治神宮野球場において全国大会の開会式に参加し、北海道から沖縄までの52チームとのトーナメント戦で、1回戦目は高知県代表チームに5対1で、2回戦目は兵庫県代表チームに4対0で、3回戦目は宮崎県代表のチームに4対1で勝ちました。

真夏の日差しの強い中、8月13日に準々決勝が大田スタジアムで大阪府代表のチームと行われ、1対0の僅差で勝利、ベスト4になりました。

その翌日に、準決勝戦で、愛媛県代表の優勝したチームに敗れたものの、全国で約15,000チームある中で、堂々の全国3位で大会を終えました。



六会レッズ 選手・役員の皆さん

チーム創設47年の集大成。一生懸命さと、応援も含めたチームワークがベストだったと思います。

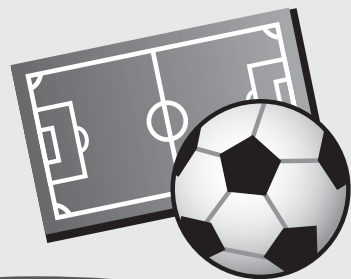
これも、沢山の地域の皆様のおかげと感謝しております。

今後共、子供たちの野球への情熱を大切に行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

ありがとうございます。

六会レッズ 代表 筒井富夫

2020年東京オリンピック 開催を目指した青少年の強化・育成 「ナショナルトレセン」をめざして



藤沢市サッカー協会

2020年東京オリンピック開催が決まりジュニア世代のサッカーマンはオリンピック代表選手を目標に日々練習に励んでいると思います。

日本サッカー協会の資料に、日本のユース育成の中心的役割を果たしているのが「トレセン制度：ナショナルトレーニングセンター制度」と記しています。

この制度は、①地区トレセン、②47都道府県トレセン、③9地区トレセン、④ナショナルトレセンの4段階あります。

この制度は、U-16・U-14・U-12の各カテゴリーにあります。

このトレセンを経験した選手から各年代の日本代表選手が多く輩出されています。藤沢市サッカー協会ではこの理念に基づき男子(少年)、(中学)、(高校)、(女子)の各委員会と連携をとり、トレセン活動のための環境整備をして上級トレセンへの輩出をめざし育成、強化をしています。

送り出された選手がトレセンでいろいろと技術、技能、人間性を磨いて成長し夢のオリンピック代表になるでしょう。

(木村)

日本型選手育成システム

男子	
大会名	代表選出対象年齢
FIFA ワールドカップ	日本代表・・・フル代表
オリンピック	U-23 代表 U-22 代表、U-21 代表
FIFA U-20 ワールドカップ	U-20 代表 U-19 代表、U-18 代表
FIFA U-17 ワールドカップ	U-17 代表 U-16 代表、U-15 代表
女子	
大会名	代表選出対象年齢
FIFA ワールドカップ オリンピック	なでしこジャパン
FIFA U-20 ワールドカップ	U-20 代表 U-19 代表、U-18 代表
FIFA U-17 ワールドカップ	U-17 代表 U-16 代表、U-15 代表

ソフトバレー

スポーツまつりふじさわ²⁰¹⁴「ソフトバレーボールの部」が、11月2日(日)秋葉台文化体育館で開催されました。

大会には、社体協のチーム、今大会のために結成された即席チーム、県大会に参加しているクラブチームなど、多種編成20チームの参加でした。

予選は20チームを5組に分け、15点2セットマッチで行われました。

いろいろなチーム編成での戦いで、1点を争う白熱した試合があったり、「珍プレー・好プレー」があったり、多彩な攻撃をするチームなどで、レベル差がわかる試合が多かった予選リーグでした。

5組の予選リーグの順位が決定し、決勝トーナメント戦が行われ1位グループは南原A・Bチーム、天神A・Bチーム、湘南の風チームの5チームの戦いで攻守にわたり白熱した試合が展開され南原Aチームが優勝しました。

2位グループは予選2位の実力チームの集まりで、随所に好プレーが見られ応援にも力が入る試合の連続でした。

3位グループ・4位グループも、予選グループ戦と違って同レベルの試合で、サーブが入らなくても、ミスにしても終始笑い声が絶えない試合で、ソフトバレーボールを楽しんでいます。

各グループの決勝トーナメント戦は、同レベルの試合で競技的スポーツと、生涯(レク)スポーツと形の違った接戦が続いていました。表彰式では、入賞チーム



ソフトバレー試合中の様子

には賞状が贈られ、全チームに記念ボールが授与されました。ソフトバレーボールは、競技スポーツだけでなく「生涯スポーツ」を兼ね備えています。

今後の課題としては、多くの市民へのPR、募集方法などが考えられます。

また、レベルによる競技種別などを検討していけば、参加チームが増えると思います。(高取)

スポーツまつりふじさわ2014

グラウンドゴルフ

第1回目となる「スポーツまつりふじさわ²⁰¹⁴」のグラウンド・ゴルフ大会が秋葉台公園球技場と自由広場を舞台に開催されました。

早朝までの雨が上がり素晴らしい青空が広がる中、广大で快適な人工芝フィールドと隣接のミニグラウンドで熱いプレーが繰り広げられました。球技場の当日の参加者16名を含め、総勢283名が各コースで快音を響かせました。

当初は朝の雨の影響で多少の芝の抵抗感がありましたが、時間の経過と



グラウンドゴルフを楽しむ皆さん

ともにボールが良く転がるようになったりとプレーヤーは時間の変化する芝の状態を読みながら好スコアを出すべくプレーに打ち込んでいました。一般参加の方も各組のリーダーの助言を聞きつつ、比較的順調な運営進行となりました。

大会の終盤になると「エツ、もう終わりなの。あつという間なんだなあ」と名残惜しむ声も聞かれました。又、見事なりーダー振りを発揮されて、一般の方から感謝の言葉を頂いたこの話もありました。

一方、自由広場でのご夫婦や親子の参加者は合計65名でした。ほとんど初めての親子さん達が役員の指導のもとに慣れないながらも和気藹藹にプレーしてグラウンド・ゴルフを楽しんでいる光景が印象的でした。

今回は4つのホールに指定ホールインワン賞を設けたところ25個となりました。因みに全ホールでのホールインワンは185個でした。これは芝の状態が良かったことや藤沢市のグラウンド・ゴルフのレベルの高さの結果でしょうか……?

表彰式では男女8位までの入賞者に拍手や歓声を送るなどプレーを終えた方々が笑顔でお互いの健闘をたたえ合っていました。

今回初めての開催でどうなるかと当初は危惧しましたが主に社会体育振興協議会、スポーツ推進委員協議会のご支援のもと、協力団体として無事終了できました。又、来年も同様に実施されるようですので今回の種々の反省点も踏まえて、よりスムーズで充実した大会になるよう祈念しています。

(藤沢市グラウンド・ゴルフ協会)

創立30周年記念式典

藤沢市ハンドボール協会



設楽会長を囲んで

藤沢市ハンドボール協会は10月に創立30周年を迎えました。30周年を記念し、11月1日(土)に藤沢市民会館第1展示ホールにおいて記念式典、懇親会を開催しました。

記念式典には藤沢市長をはじめ、市体育協会、県ハンドボール協会、松本市ハンドボール協会など多数のご来賓と種別協会、県内ハンドボール協会の代表者ならびに協会加盟チームの代表者、関係者など多くの方々の御出席をいただき、和やかかつ賑やかに開催することができました。誠にありがとうございました。

記念式典では設楽会長より、昭和59年10月創立以来の30年間の歩みとともに、これまでご支援いただいた関係者の方々の感謝とお礼の言葉を申し上げさせていただきました。

ご来賓の皆様からは、鈴木恒夫市長、佐賀和樹市議会副議長、小野隆弘体育

協会会長、森川利昭 県ハンドボール協会 副会長より、協会創立30周年の御祝辞をいただきました。

表彰式では長年にわたり協会役員として普及活動に貢献された、大久保博之 常任理事、酒井直人 常任理事に功労賞を贈呈しました。また、優秀な成績をあげた団体、個人への表彰として、この10年間で関東少年少女ハンドボール大会へ7度の出場を果たした湘南台クラブ男女、湘南台クラブの卒業生で横浜創英高校からインターハイに出場した、市川紗江さん、大島萌子さん、グレイクレア・フランシスさんに優秀賞を贈呈しました。

懇親会では林良雄体育協会副会長の音頭で乾杯の後、懇談に移り、松本市ハンドボール協会、日本ハンドボール協会の方々からもお祝いの言葉をいただきました。

また、当日は設楽会長が昨年9月に脳梗塞で倒れて以来、久しぶりの元気な姿のお披露目となり、会長の周りは人の輪が絶えることがありませんでした。最後は井田勝体育協会副会長の万歳三唱で無事閉会となりました。

これからも、藤沢市ハンドボール協会は小学生から中学・高校生、社会人に至るまで幅広い年代の人達にハンドボールを楽しんで頂けるよう、普及発展に尽力してまいりますので、宜しくお願ひ申し上げます。(佐藤)

目指せ全国制覇

日大藤沢高サッカー一部

7年ぶり4度目の出場

11月9日に行われた第93回全国高校サッカー選手権大会県2次予選決勝で厚木北高を1-0で破り見事優勝。

7年ぶり4度目の全国大会出場キップを手にしました。

全国大会では、日藤サッカーを如何なく発揮して全国制覇を期待します。市内の高校の全国大会出場です。

市民のみなさん大いに応援しましょう。

大会開幕 12月30日(火)

日大藤沢高は、31日(水)

ニッパツ三ツ沢球技場で12:05 登場します。



編集後記

例年、この時期になると年末年始のスポーツイベントが気になります。

高校の全国駅伝、サッカー、ラグビー、大学の箱根駅伝などが行われます。紙面で日藤サッカーの全国大会を紹介しましたが、全国高校駅伝に伝統ある藤沢翔陵高が出場します。

両校の出場は藤沢市の小・中学生の目標になるよう期待するところです。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定から各競技団体は選手の強化、育成について検討、模索してまます。

市体協も強化・育成のための体制を作りましょう。(木村 高科)

第30回 スポーツ人の集い

◆日時 平成27年2月21日(土) 午後3時30時～

◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 式典

藤沢スポーツ賞表彰式

この1年間に活躍した選手・団体を表彰

第2部 講演会

『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて』



河野 一郎 氏

日本スポーツ振興センター理事長 筑波大学特命教授、学長特別補佐
 湘南学園高等学校卒業 東京医科歯科大学医学部卒業
 日本オリンピック委員会理事
 1988年～2000年オリンピック日本選手団チームドクター、役員
 日本ラグビーフットボール協会理事 1999年ラグビーワールドカップ団長
 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長